

令和元年 10月
第 399 号



季節の移り替りを感じます



お
お



おもな内容

- ・大しめ縄づくり … P2
- ・大湫町敬老会 … P3
- ・稲刈り体験(公民館講座) … P4
- ・北中学校、秋の行事 … P5
- ・集まろう会大湫太鼓 … P6

稲刈り体験 (公民館講座)

9 / 23 (祝・月)



神明神社の大杉「大注連縄の架け替え」9/15(日)

10月の「神明・白山神社例大祭」を前に、まちづくり団体『御注連縄の会』が中心になり、「大しめ縄づくり」が行われました。27人の男衆が“伝統を絶やしちやいかん”と藁をしごき藁束を作るところから始めました。



中心近くは太く、先の方は細く作られた3本の左廻いの縄のうち2本を編み、最後に3本目を編み完成。



出来上がった16mの大注連縄は、神明神社へ運ばれ、御神木の
大杉幹回り11mに結ばれると装いも新たに、秋祭りを待つばかりとなりました。



作業終了後、“これぞ、男衆の心意気”と言わんばかりに皆さんいい顔で記念にパチリ。

参加された皆さん、お疲れ様でした。



大湫町敬老会 9/22 (日)



対象者(S20.3生まで)
足又区：17人 西区：19人
神田区：20人 北区：14人

参加された31人の皆さん。元気、元気！

今年も「介護予防サポーター」の安藤則通氏による「頭と手の体操」が行われ、皆さん真剣に取り組みながら楽しめましたよ・・・



釜戸の「レイ・コアリ」による優雅なフラダンスにうっとり・・・！

常夏のハワイ？それともゲーム？皆さん、レイをかけてもらい身振り・手振りを楽しもう～♪



最後に、松浦さんのピアノによる生演奏と足立さんの指揮で、『ふるさと』を歌い「敬老会」を終了。久しぶりに会う方や今年初めて参加された方など、皆さんの元気な姿が一番。来年も元気な姿でお会いしましょう。

はらはら、ドキドキの稲刈り体験

「ザクッと音がして稲が刈れるのが、何とも云えずよい感触！」。9月23日（秋分の日）は、稲刈り体験の公民館講座でした。台風17号が九州に災害を発生させ、日本海を北上中でした。雨が降ればこの講座は中止でした。早朝は明るい空。予報ではちょうど雲の間に大湫があるような…。町外からの体験講座申込者が一組でも参加されれば講座は実施することになりました。

稲刈り参加予定者もきっと、「できるのか？できないのか？」を案じながら様子を見ておられたのでしょう。遅れて参加するとの連絡もありました。開始の時刻をずらして揃うのを待ちました。その間、“ふれあいセンター”



内で、稲刈り用鎌と稲藁を使って刈り方の指導。「小指を切らないように」「一株ずつ株の下の方をこのように切って・・・」。

田んぼに行く時間を遅らせたこともあり、ワラ縄の作り方を講習。急遽ですが長谷川達二氏が指導。「昔、親から教わった」という方もお見えになります。子どもたちも真剣に講師の手元を見つめ、さ一実践。なかなか難しい。でもなんとか形になり「できたっ」と子どもたち。

田んぼに向かいます。田んぼでは、町内の「稲刈りボランティア隊」が待ち受けています。

5月の田植えにも参加された人は「たった3株ほど植えた稲がこんなにも増えたんだ…。ビックリです」と。刈り始めると、ボランティア隊「刈った束はこうしてずらして置く」「ワラでイネ束を縛るときこのすき間にねじ込むように入れて」。参加者「よく考えられていますね」。



稲が刈られた場所に作られた稲架（はさ）には、刈った稲が掛けられています。4mほどの稲架にイネ掛けが済んだところで、稲刈りの体験終了の合図。「もうすこしやりたい」というような様子もありましたが時間の都合もあり、終了しました。

用意された大湫の「お休み処」の特製五平餅をお昼にいただきました。

ボランティア隊の皆さんに感謝し「稲刈り体験」講座を終わりました。本当に皆さんお疲れ様。台風17号で。はらはら、ドキドキさせられた稲刈り体験講座でした。

おめでとう



夏休みに取り組みましたコンテストで高評価を受けた北中学校の地元生徒さん

東濃地区ものづくりコンテスト

入選：2年 板橋 茉里香さん

1年 奥村 友美さん

9月21日に予定されていた瑞浪北中学校「第1回体育大会」は、天候不順につき24日に開催されました。

釜戸中・瑞陵中・日吉中の3校が統合して初めての「体育大会」となりました。

この大会には、『集団としての凝集力を高め

る』というテーマが

あったそうです。生徒同士の支えあいがあり、より一層“絆”が強まったとか・・・。

大会の成功が目に見えそうです。



これからの秋の行事

10月6日(日) : 神明・白山神社例大祭

13日(日) : 神田白山権現社例大祭

20日(日) : 足又例大祭

26日(土) : 「オオクテ・ツクルテ」1日目

27日(日) : 「オオクテ・ツクルテ」2日目

11月3日(祝・日)

大湫町文化祭&収穫謝恩祭

17日(日) : JRさわやかウォーキング

24日(日) : 町内防災訓練予定



① 防火水槽を使用しての放水デモ

② 消火栓の使用法

③ 旧小学校庭での初期消火訓練・煙体験

大湫太鼓の素晴らしさ

三戸 由梨奈

大湫に引越して来るまで太鼓に触れた事が無く、隔週土曜の太鼓練習で戸惑っていた小一の息子が、八月十二日に大湫公民館で行われた『志多ら』のワークショップに参加した事で、太鼓を一気に好きになりました。

「九月八日の『志多ら』の公演に出たい！」と言うまでになりました。

九月七日の

合同練習会に参加し、頑張っている姿を見て、明日は大丈夫かな？と心配になるばかり。
いざ、当日！
リハーサルの



時点で感動してしまいました。

本番ではたくさんのお客さんの前でやりきった息子は輝いて見えました。

私も今まで太鼓に触れた事がありませんでした。子どもに太鼓を触れさせられる機会がある事は素晴らしいと思います。大湫太鼓を途絶えさせず、続けてくれた方達に感謝します。

改めて、大湫で子育てを出来てよかったと思っただけでした。

家ぞくでやっている太こ

釜小四年 棚橋 凜桜

九月八日の太こ『志多ら』瑞浪公演「いのちのちから」に出るために、れいたく学校の太こ部へいどうして練習しました。きゆうきよ「集まるう会」でやったのちがったので、なかなかおぼえにくかったけど、本番の時は



失敗しなかったのです。うち上げの時、自こしようかいで私たちは家ぞくで太こをしてくれるので、私のおぼあち

やんがしようかいしました。けれど、おじいちゃんやんは、用事があつてそこになかったのです。ざんねんです。そして、ちよつとだけ友達が来てくれたけど、来なかった子がいっぱいいたのです。ざんねでした。でも、いっぱいペアの子と、たたけたので、楽しかったです。おぼえいで、たたくのは、気持ちよかったです。

健康寿命を

延ばそう

昨夏も暑かったが、今夏はそれを上回る猛暑が続いた。運動会で熱中症になって倒れる子供が続出した。高齢者は、居場所のないほどの暑さで耐えるのに必死だった。過日開催された敬老会では、お互いの無事を喜び合った。

「涼しい」が売り物の大湫でも、気温三十五度は体験したことがない暑さで、健康の有り難さを感じた夏だった。

地球は温暖化に向かっているのだから、お互いに強い体力を保持して欲しい。「健康長寿」は望めない。予想もしていなかったが、世界でも一・二の長寿国となり、現在は百歳以上の高齢者が七万人を超えた。西洋医学の進歩と生活環境の向上により、まだまだ長生き出来る様になるが、医療制度や年金制度が破綻してしまう

と心配されている。

特に女性の高齢者が八十八%を占め、福岡市の田中力子さんが百十六歳、男性では新潟市の渡辺智哲さんが百十二歳で健在である。

健康で年を重ねるのは望ましいが、寝たきりになって自宅や介護施設で家族や介護者の世話になりながら「百歳」を迎えることは、高額負担となり、国の財政は本当に大丈夫だろうか。

国も自治体も、健康管理について一人一人が留意することを呼び掛けているが、現役の若い者には病院に行く暇がなく、高齢者は病院に行くのを仕事にしている。

死亡率一位の「ガン」も早期発見が必要と云われているが、手遅れで「ほぞ」をかむ人が多い。

また、高齢化と共に認知症になる人が多くなって来た。八十歳を過ぎると半数の人が認知症になると云われている。

「物忘れ」が多くなり、そのうちに家族の世話になる人が続出するだろう。年齢と共に体力や気力は低下する。「歩く健康」は誰もが知っているが、実行する人は少ない。無農薬の健康野菜を作った方がいいと思うが、「スーパーで買った方が安い」という言葉が返って来る。

一番望ましいのは「歳を忘れて夢中になる趣味」を持つことだ。グループを作って楽しむことがよいが、何処の町にも「長寿会」がある。長寿会は、地域のボランティア活動などをやっているが、会員の減少には苦慮している。

若者が減少し、年々生活が不自由になる僻地の高齢者は、助け合って健康長寿を全うしたいものである。

文責 天野長三郎



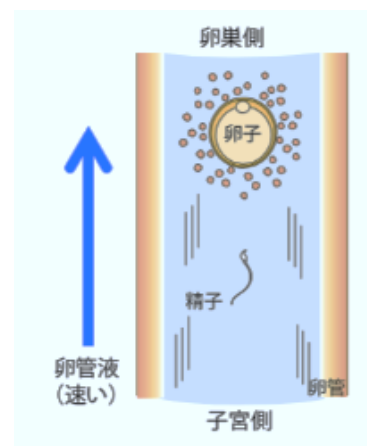
共同作業で受精—大人の生物学

子どもは両親の合作。父と母の配偶子が結合、いわば合併です。母の配偶子（卵子）と父の配偶子（精子）には、かなり違いがあり、対等な合併（接合）というよりは、卵子に精子が吸収合併されるようなものです。卵子は大型¹⁾。精子は小さく、全長でも髪の毛の太さぐらい。運動能力・寿命・生産数もそれぞれ大きく違います。

精子は5日間ほど元気。卵巢から卵子がやってくると、待機場所から速やかに移動を開始。とは言うものの、そこに到達できる精子は数百個。卵子は短命で丸一日ほどしか生きられません。男女の平均寿命とは逆なのです。

一人の女性が排出する卵子は500個ていど。精子は数兆個が生産。まさに桁違い。この差こそ卵との出会いを確実にする戦略。精子側からすれば、卵子に到達するには過酷な環境を乗り越えなければならず、多数の精子が共に進まなければ無理、助け合わなければならぬのです。そのため受精には、たくさんの元気な精子²⁾が必要です。「数は力なり」。もちろん卵子の方も自分の場所を精子に伝える誘引物質³⁾を出し、精子を誘導すると考えられています。受精（接合）は共同作業です。

受精すると他の精子の進入は許しません。卵子は精子が出すシグナル⁴⁾を受け取り活性化。この受精卵に母体から必要な栄養が供給される迄は卵子の中に備蓄された栄養で細胞分裂を繰り返します。卵子が精子より大きいのはこの備蓄栄養があるためです。精子は受精後の栄養のことは考えていないのです。



- 1) 卵子（直径）は精子の全長の2倍ほど
- 2) 1ml 当たり 1500 万個、その40%以上が活発に動く精子が受精に必要（「精子カクライシス」NHK 2018. 10. 5）
- 3) ホヤ・ウニなど数種類でしかわかっていない。最近の研究（2019. 4）では、卵管液の流れに乗って精子が進むことがマウスで確認された（右図、日野敏昭・柳町隆造論文より）。
- 4) 精子侵入点から「受精カルシウム波」が広がる

9月の丸森だより

9月23日まで

訪問者	町外		町内		合計	その内 (外国関係)
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
	454	7	118	3	582	37
					R1,4月～	4,443人
					オープンから	25,425人

(団体・個人等)

- ・旅人企画(70)・・・大湫宿～大井宿
- ・まちづくり会議(20)・・・丸森で夜の会議
- ・ぎふ17宿歩き旅(60)・・・大湫宿～大井宿(瑞浪からバス輸送)
- ・大注連縄作り(27)・・・公民館行事の協力
- ・Wakjapan 秋のツアー・・・3回、(9/24、9/28、9/29 予定)
- ・RAWトラベル・・・4回
- ・初めて山形県から(最上市)・・・野宿で
- ・NHKBS プレミアム ざ・穴場スポット(U字工事)・・・9月28日(土)18:00～19:00放送

10月のガイド

10/3(木)	大垣赤坂中2年生 A(10:00～12:00)、B(12:00～14:00)	ボランティアガイドのメンバーが ポイントごとで案内
10/16(水)	小牧の団体 11:00～ 浜松の団体	丸森職員で対応
10/26(土) 10/27(日)	ぎふ17宿イベント応募者	ボランティアガイドのメンバーと 丸森職員で対応

これまでの来訪者から(日本編)

- * 地図の様に、日本各地からこの中山道大湫宿を訪れている。
- * 以前は、中山道の地図には大湫宿より細久手宿の名がよく載っていた。
(宿泊施設がある関係からか)
- * 最近では、歩き旅の人やツアー会社がこの大湫宿(丸森)のリピーターとなって知名度が上がってきた。
- * 中山道踏破の旅人には、十三峠～大湫宿～細久手のコースはあまり関心がなく、ただ通過するだけの場所でした。
- * 実際に訪れて職員の観光おもてなしを受ける中で、中山道のこのコースの魅力を感じて行かれる方、2回目、3回目と訪れる方、友達を誘って来られる方なども多くなっている。
- * インターネットで「大湫宿」を検索すると大湫町コミュニティ推進協議会のHPにつながるため、大湫宿の情報の閲覧者が多くなっている。



せらしお 2019年 10月の集まろう会

大湫町コミニティ
推進協議会
集まろう会

☆ 10月の太鼓は..... 出番があります。

- ◎ 10月19日(土) 日吉町文化祭
午後2時30分 演目... 「証誠^{しんじ}まの狸ばやし」
「かごめ かごめ」
- ◎ 10月27日(日) 金戸町文化祭
午前9時45分 演目... 「証誠まの狸ばやし」「大杉」
- ◎ 11月3日(日) 大湫町文化祭
朝1番10時すぎ 演目... 「楽」「大杉」

・練習日について

(昼) 10月12日(土) 9:30 (夜) 10月7日(月) 19:00
(夜) 10月14日(月) 19:00

☆ 文化祭の時に、収穫謝恩祭をします。(芋煮会)

芋煮の汁物と、芋御飯を、つくります。お手伝いを
だける方、ありましたら、ありがたいです。準備は、11月2日
13:00からです。当日と、あわせて、よろしくお願ひします。

☆ 文化祭の時に、展示をします。手づくり小物を、出したいので、

みなさん、御協力おねがひします。

展示搬入：11月1日(金) 15:00～17:00までです。

☆ 「かしわや」営業 — 10月12日(土)です。赤札、新物あります。

大湫公民館からのお知らせ

オススメ！大湫分室の本
『湯けむり行脚』

池内紀：著

全国津々浦々の名湯秘湯を訪れた温泉博士のエッセイ集。昔ながらの湯治湯を巡り、どこかノスタルジックな雰囲気漂います。ゆっくり、ほっこりしたい人のおススメの本です。

ご招待券あります（各2名様）

○秋季特別企画展

「新版画展—浮世絵版画のその後」

期間：12月8日（日）

場所：中山道広重美術館

デマンド交通

利用者（大湫～日吉東部）

8月：51便 延べ101名

*大湫宿お休み処

10月の営業は6日（日）・13日（日）・14日（祝月）・20日（日）・26日（土）
27日（日）です。

皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

☆当日（急ぎ）の予約は丸森へお願ひします。Tel：0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」（100円コーヒー）

10月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9：00～AM11：00

営業場所 ふれあいセンター



青色回転灯防犯パトロール

10月のパトロール予定者

10/上旬

桐井賢次、柘植 巧

10/下旬

奥村準蔵、三浦信之



月に2回パトロールしてます！

募集中！

文化祭のボランティア



11月3日（祝・日）に開催される「大湫町文化祭」時に行われる「収穫謝恩祭」にお手伝いして頂ける方を募集しています。

芋汁・芋の炊き込みご飯を一緒に作りませんか？

詳しくは大湫公民館まで。

☎：63-2360

区長日記

9月1日の防災訓練には、大湫町で百十六名の参加をいただき、誠に有難うございました。災害に対応するに当たり、自助・共助・公助の取り組みが求められますが、私たちの地域社会は、支え合いの精神で被害の最小化に取り組めるよう心掛けて行きたいものと思います。

昭和34年9月26日に東海地方を直撃した台風15号（伊勢湾台風）は、死者数五千人を超える未曾有の大災害となりました。

大湫町でも多くの家屋が倒壊し、私の家も一部屋を残し戸が全部無くなり、私たち子供は死んだ時のためにと一番良い服を着せられて身を寄せ合って居ました。

地球温暖化が気候変動を過激化させ、想定外の災害が多発しています。防災訓練など災害発生時の緊急対応を身に着けると同時に、経済活動や私たちの暮らし方そのもの見直しについても、子孫の将来を大切に考えながら取り組んで行きたいと思えます。

区長会長 足立

9月1日 瑞浪市総合防災訓練

5日 転入対策委員会

6日 区長会・幹事会

8日 秋季奉仕作業

11日 オオクテ・ツクルテ実行委員会

12日 夢づくり交付金事業報告会

13日 青少年街頭指導・丸森ナイトトーク

14日 炭焼き窯整備作業

15日 大杉注連縄づくり・中国人殉難者慰霊祭

17日 文化祭実行委員会

21日 長寿会奉仕作業・景観協議会ワークショップ

22日 大湫町敬老会

23日 公民館講座稲刈り体験（みんなの農園）

26日 稲架かけ作業（みんなの農園）

28日 釜戸小学校運動会

29日 青少年育成市民会議「高校生と語る会」

30日 連合自治会



令和元年十月行事予定

日	曜	予	定
二	水	リ・アップ「ひよも」	
三	木	定例区長・幹事会	
四	金	抜穂祭／釜小一・二年生社会見学	
五	土	竜吟幼児園運動会	
六	日	神明・白山神社例大祭	
七	月	財産区全員会議／集まろう会太鼓練習	
一	金	釜小五・六年生社会見学	
二	土	おしゃべりサロン／かしわや営業 集まろう会太鼓練習	
三	日	神田白山権現社例大祭	
四	月	*体育の日／集まろう会太鼓練習	
一	土	景観住民会議 集まろう会大湫太鼓（日吉町文化祭出演）	
二	日	足又例大祭	
二	月	瑞長連パターゴルフ大会	
二	土	おしゃべりサロン／かしわや営業 オオクテ・ツクルテ第一日目 釜戸町文化祭（二七日まで） 瑞浪北中授業参観	
二	日	オオクテ・ツクルテ第二日目 集まろう会大湫太鼓（釜戸町文化祭出演）	
三	水	広報委員会	

今月の資源ごみ:10/24(木)不燃ごみ:10/4(金)

編集後記

「古い家のないまちは、思い出のない人と同じです」と誰かが言ったとか…。

「日本の高度な技術を手放して、なぜ、使い捨てるの住宅に住むのか」と外国の人が言ったとか…。

自然が多い田舎には日本の文化のルーツがあるという。その田舎くらしから生み出せるものは…。

わが町は、どうなんだろうか…。

高齢者の一人暮らし。幸いなことに「敬老会」を見る限りは、まだまだ元気なおじいさんとおばあさん…。しかし、小学校・中学校とも町から離れて、子どもたちの声が聞こえず昼間はシーンと静まりかえっている。

急速に進む高齢化の中で何ができるのか…。

超限界集落にならないために何をすればいいか…。

真剣に向き合う時期がすぐそこに来ているのでは…。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和元年10月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>